

陽北中学校「かがやきルーム」について

「かがやきルーム」とは？

学習上・生活上に何らかのつまずきがある生徒に対し、教材・教具、支援の方法を工夫し個々のニーズに応じた学習や生活スキル学習を提供する場です。個別もしくは小集団の形態で落ち着いて学習に取り組めるよう配慮していきます。

小学校とは違う・・・、頑張ってもなんだか上手くいかない・・・、子どもたちは学校生活の中でいろいろ不安に向き合い、何度も壁にぶつかることでしょう。自分で解決できることもあれば、自分の力だけではどうにもならない場合もあります。そんな子どもたちのつまずきをサポートしていく体制を組織的に作っていき、子ども一人ひとりが「かがやいて」いけるように、そんな思いから「かがやきルーム」が生まれました。

「かがやきルーム」の利用について

1、対象となる生徒

学習および生活上に何らかのつまずきを抱え、本人・保護者が個別・少人数指導を希望されており、学校がその必要性を認めた生徒が対象です。

2、指導時間（宇都宮市の指標です。）

国語 週1～2時間（3年生は1時間のみ）

数学 週1～2時間（2年生は1時間のみ）

3、指導内容

- ・国語・数学の既習内容の復習
- ・集団生活におけるスキル学習 等

4、指導者

かがやきルーム指導員 斎藤奈都子

5、教室の場所

南校舎3階



「かがやきルーム」は、単に苦手な学習の補充をするといった場ではありません。気持ちを落ち着けて学習に臨む姿勢を作ったり、他者との関わり方など生活スキル（ソーシャルスキル）を学ぶ場であったりします。保護者から使用申込書が提出された場合に、お子さんの生活状況・学習状況から個別の支援が必要であるかどうかを見取り、校内の支援推進委員会で「かがやきルーム」での支援が有効であると判断されてからの利用となります。

「かがやきルーム」についてのご質問・ご相談は、担任を通して、
特別支援教育コーディネーター（横塚）までご連絡ください。